

令和3年度学校評価について

1 評価方法について

領域	評価方法・(実施月)	
	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	【全校生徒】 ・アンケートによる択一様式 ・実施日：11月25日～12月8日 ・全校生徒対象 569人／591人 ・回収率 96.3% 【保護者】 ・アンケートによる択一様式 ・実施日：11月25日～12月1日 ・全保護者対象 411人／582人 ・回収率 71.6% 【教職員】 ・アンケートによる択一様式 ・実施日：11月25日～12月1日 ・全教員対象 45人／52人 ・回収率 86.5%	【学校評議員】 ・アンケートによる択一様式 ・実施日：1月21日 ・学校評議員対象 5人／5人 ・回収率 100%
2 学習指導		
3 生徒指導		
4 進路指導		
5 特別活動等		
6 学校図書館		
7 保健・安全指導		
8 人権教育		
9 環境教育		
10 事務・管理		
11 その他学校の取り組み		

2 学校評価の活用等について（課題の改善に向けた具体的な取り組み等）

運営委員会や職員会議などを通じて、教職員の中に学校評価の結果を真摯に受け止め、課題の改善に積極的に取り組む意識を醸成していく。

(学校経営) 次年度への取組会議では、働き方改革の視点に立った来年度に向けての取組の精選を行った。

(学習指導) 令和4年度から学年進行で実施する学習指導要領に向けた授業改善については、生徒に身につけさせる資質・能力を教職員全体で共有し、授業改善につながるような取り組みをする必要がある。

(生徒指導) 来年度以降も粘り強く服装を正す意義を生徒・保護者に訴えかけ、考えてもらう必要がある。

(進路指導) 就職、進学とも来年度以降も各系列の特色を生かした取組みが入学時から継続的に取組む必要がある。

(特別活動等) 近年、新型コロナウイルス感染症の影響で部活動や生徒会活動に大きな制限があるため評価も低くなっている。部活動については、どの部にも十分な生徒数が集まらず活動も低迷していく状況がある。生徒の入部率を高める工夫をしながら部活動数の精選を行い、部活動を活性化させていく。

(学校図書館) 来年度は図書館のより活発な利用や生徒の読書習慣の向上など教育活動の中で何ができるのか、図書館の活用の仕方を学校全体で工夫する必要がある。

(保健・安全指導) 新型コロナウイルス感染症に関する予防対策等タイムリーな話題を積極的に発信し、生徒・保護者・教師とも改めて保健・安全指導の役割の重要性を認識した。

(人権教育) LGBT理解や性被害防止、がん教育を学年統一のLHRとして実施した。来年度以降もこれらのテーマで学年統一LHRとして実施することで、生徒の人権意識の向上に努めていく。また、教職員に対しても今日的課題の研修を実施し人権意識の向上に努めた。

(環境教育) 環境教育の取り組みについては、教員・生徒とも積極的に取り組む意識が年々減少してきている。ゴミの減量化や持ち帰りを教職員・生徒ともに徹底していく必要がある。

(事務・管理) 施設・設備等の安全点検をこまめに実施した。今後も事務・管理のため教員と事務職員との連携をさらに強化していく。

(その他学校の取組み)

- ・産業人材育成プロジェクト事業等で、福祉系子ども福祉類型の充実に向けた取り組みができた。来年度以降も長浜市と連携を強化し、幼稚園教諭や保育士の育成等地域が求める人材育成を積極的に行っていく。
- ・一斉メール配信を活用して、学校の情報を広く保護者や地域に発信していく。